

# KF

2液弱溶剤 **4フッ化** フッ素樹脂塗料  
セミフロンⅡシリーズ

セミフロンマイルドⅡ (艶有) JIS K 5659 認証取得 認証番号 JP0311001

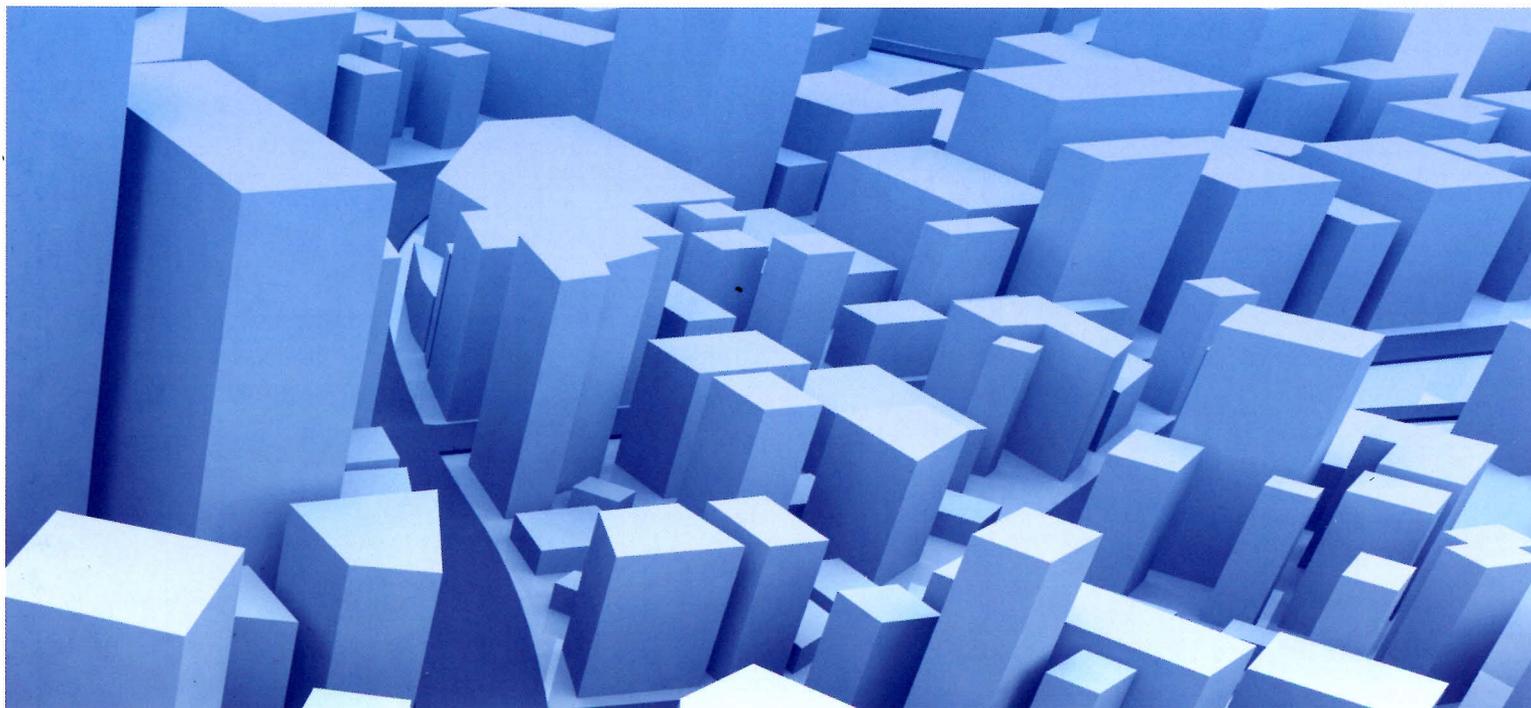
セミフロンマイルドⅡ (5分艶・3分艶)

セミフロンマイルドⅡ 遮熱

セミフロンルーフⅡ

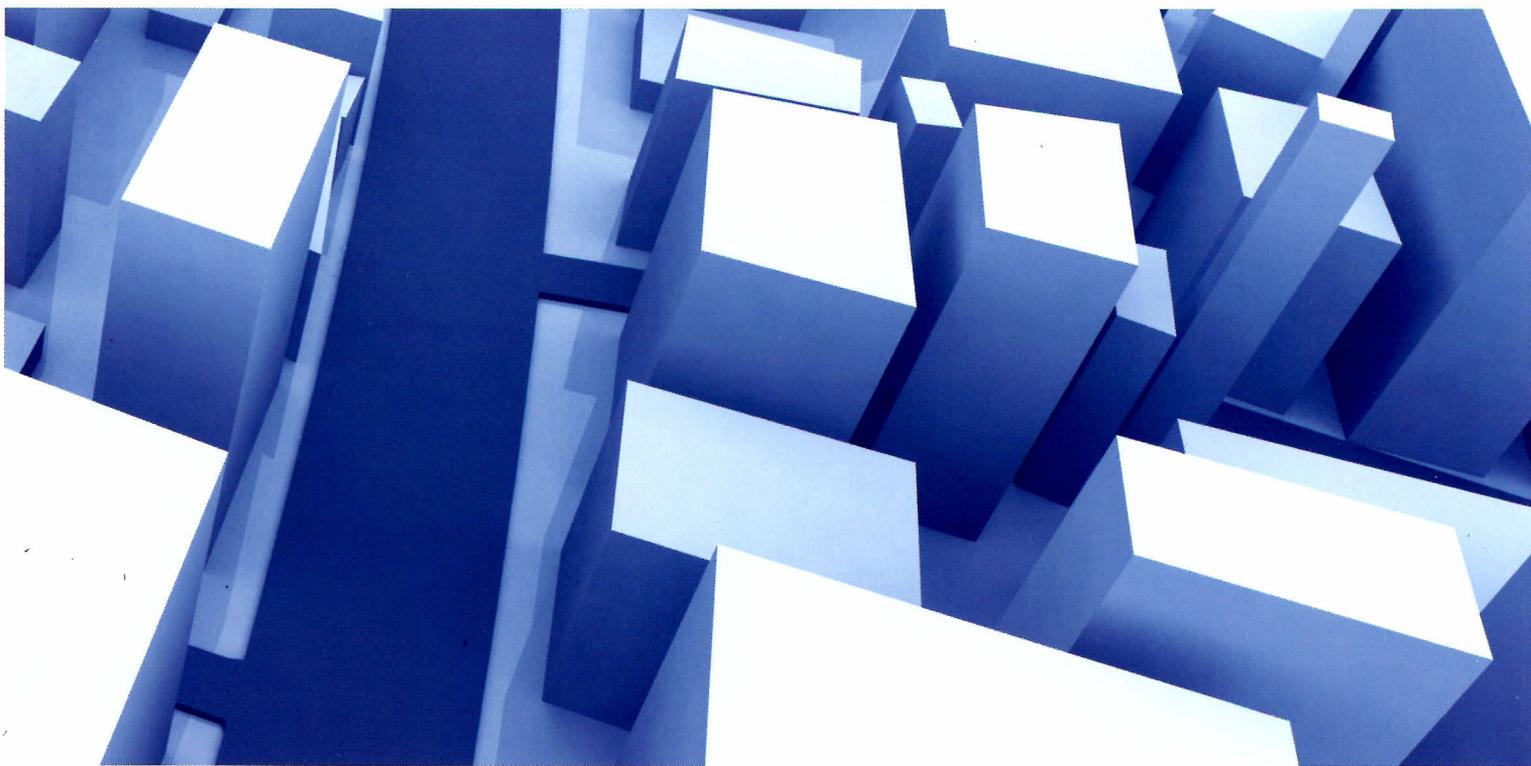
セミフロンルーフⅡ 遮熱

※JIS K 5659 認証取得は「セミフロンマイルドⅡ(艶有)」のみです



建築物をより強く。より美しく。

# CEMIFLON

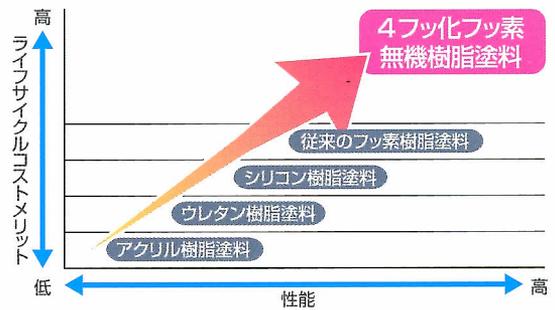


# これからのフッ素樹脂塗料の新基準

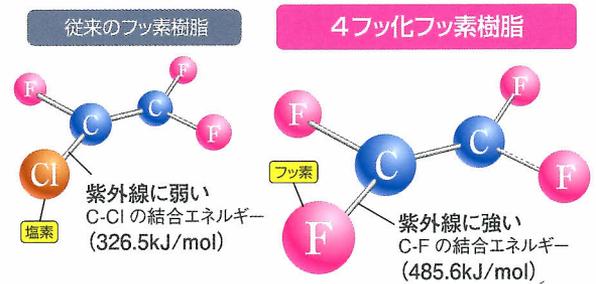
セミフロンマイルドII、セミフロンルーフIIは  
 耐候性に極めて優れた4フッ化フッ素樹脂を使用した  
 高耐候性の2液弱溶剤形フッ素樹脂塗料です。  
 耐汚染性に優れ、建物の美しさを長く保ちながら、  
 様々な用途に適合可能な  
 建築用フッ素樹脂塗料の新基準となります。



従来のフッ素塗料に比べてメリットがいっぱい。



## 4フッ化フッ素樹脂の化学構造



塩素フリーの次世代の塗料です。

## 商品一覧

工法	材料名	色相	光沢	JIS K 5659の 耐候性による等級	容量	セット(主/硬)	配合比	希釈剤	希釈率	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	可使時間(h)
下塗	KFマイルドシーラーII	透明	艶有	-	16kg	(14kg/2kg)	7:1	塗料用シンナーA	0~10%	0.12~0.15	夏季2 春秋季4 冬季6
	セミフロンバインダー SiII	白・各色	3分艶	-	16kg	(14kg/2kg) 8kg(7kg/1kg)	7:1	塗料用シンナーA	0~10%	0.15~0.18	夏季2 春秋季4 冬季6
	セミフロンルーフバインダー SiII	白・各色	3分艶	-	15kg	(10.5kg/4.5kg)	7:3	無希釈	-	0.18~0.23	夏季2 春秋季4 冬季6
	KFマルチウレタンプライマー	淡黄色	-	-	14kg	4Kg	-	無希釈	-	0.12~0.15	-
	セミフロンフィラー	白	-	-	16kg	-	-	水道水	0~5%	0.20~1.20	-
	セミフロンフィラーエポ	白	-	-	16kg	-	-	水道水	0~5%	0.20~1.20	-
下塗(錆止)	セミフロンエポプライマーII	ホワイト・グレー・ブラウン	-	-	16kg	(14.4kg/1.6kg)	9:1	塗料用シンナーA	0~5%	0.12~0.18	夏季2 春秋季4 冬季6
上塗(外壁)	セミフロンマイルドII	白・各色	艶有 5・3分艶	1級 -	16kg	(14kg/2kg) 4kg(3.5kg/0.5kg)	7:1	塗料用シンナーA	0~20%	0.12~0.18	夏季3 春秋季5 冬季8
	セミフロンマイルドII 遮熱	標準色	艶有	-	-	-	-	-	-	-	-
上塗(屋根)	セミフロンルーフII	白・各色	艶有	-	16kg	(14kg/2kg) 4kg(3.5kg/0.5kg)	7:1	塗料用シンナーA	0~20%	0.12~0.18	夏季3 春秋季5 冬季8
	セミフロンルーフII 遮熱	標準色	艶有	-	-	-	-	-	-	-	-

## 性能項目

試験項目	規格	セミフロンマイルドII	セミフロンルーフII	試験項目	規格	セミフロンマイルドII	セミフロンルーフII
容器の中の状態	かき混ぜた時一様になること	異常なし	異常なし	耐屈曲性	10mmの折り曲げに耐える事	2mm合格	2mm合格
表面乾燥性	23℃ 8時間以内	合格	合格	耐衝撃性	異常がない事	異常なし	異常なし
	5℃ 16時間以内	合格	合格	耐おもり落下性 (デュボン式)	割れ及びはがれが無い事	異常なし	異常なし
塗膜の外観	正常である事	異常なし	異常なし	耐アルカリ性	異常がない事	異常なし	異常なし
ポットライフ	5時間で使用できること	5時間	5時間	耐酸性	異常がない事	異常なし	異常なし
隠ぺい率	白 90以上	97	97	耐湿潤冷熱繰り返し性	異常がない事	異常なし	異常なし
	赤 50以上	83	83	混合塗料中の加熱残分	白・淡彩で50%以上	60	60
	黄 50以上	73	73	促進耐候性(キセノン)	2500時間 80%以上	合格	合格
鏡面光沢度(60°)	70以上	82	82				

# 建物に美観と耐久性をプラス

セミフロンは、幅広い建築用途にフィットします。

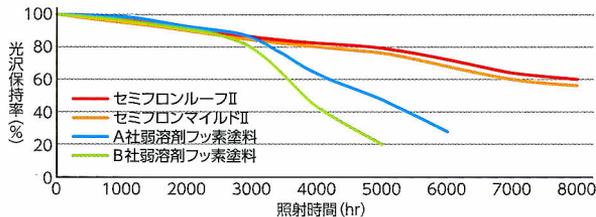
# 2液弱溶剤形4フッ化フッ素樹脂塗料 セミフロンIIシリーズ

## 耐候性

### いつまでも美観を保ちます

セミフロンマイルドII、セミフロンルーフIIは4フッ化フッ素樹脂特有の高耐候性を有しており、紫外線や雨・風など過酷な気象条件に対して優れた性能を発揮します。長期にわたり建物の美観を保ち、トータルコスト削減に貢献する事が可能です。

#### ●促進耐候性試験(XWOM×8,000hr)



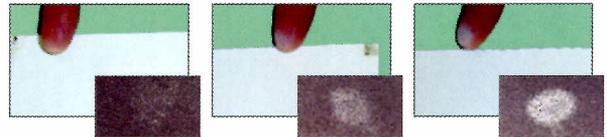
他社フッ素樹脂塗料と比較して、きわめて高い耐候性能を有しています。光沢保持率が30%を下回ると、塗替えのサインとなります。

## 耐白亜化性

### 色あせしにくい塗膜です

#### ■耐白亜化性

塗膜の劣化が進むと、写真のように塗膜表面に白亜化が見られ、光沢が低下し、色あせを起こしますが、指でこすっても白くなるような大きな変化はありません。



セミフロンマイルドII  
チョーキングしていません。

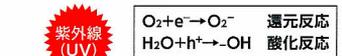
A社フッ素樹脂塗料  
チョーキングで手が白くなっています。

B社フッ素樹脂塗料  
チョーキングで手が白くなっています。

※宮古島暴露4年目の状態

#### ■光触媒反応の抑制により、紫外線劣化を防ぎます

宮古島の苛酷な環境における実証実験により顔料選定を実施した結果、真に優れたラジカル制御性を備えた耐候性を実現しました。



紫外線(UV) 酸素(O<sub>2</sub>) 水(H<sub>2</sub>O)

電子(e<sup>-</sup>) 正孔(h<sup>+</sup>)

## フレキシブル性

### ひび割れしにくい塗膜です

セミフロンルーフIIは塗膜の柔軟性・強靭性に優れた物性を実現しています。耐屈曲性や耐衝撃性などの物理的性能に対しても適応しており、様々な仕様に用いる事が可能です。



セミフロンルーフII

従来のフッ素樹脂塗料

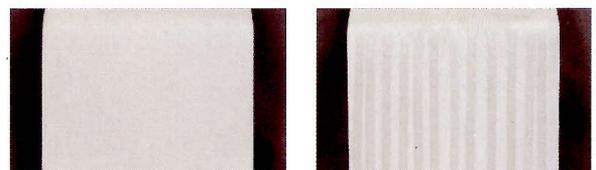
従来のフッ素樹脂塗料はφ10mmの曲げ試験でひびが入りますが、セミフロンルーフIIは、φ2mmでもひび割れが起きません。

## 低汚染性

### 雨筋汚れを防ぎます

セミフロンマイルドIIは塗膜表面に親水性成分を形成する事により、空気中の塵や埃、排気ガスなどによる雨筋汚れが少ないという特徴があります。頻繁な塗替えが困難な建物に対しても安心してお使いいただけます。

#### ●汚染性能比較



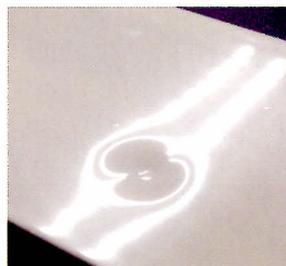
セミフロンマイルドII

他社溶剤系フッ素樹脂塗料

## 付着性

### 優れた付着性を発揮します

セミフロンマイルドIIは防食仕様における基準試験となるおもり落下試験でも問題がありません。金属下地に対する優れた付着性・柔軟性を発揮します。



## 遮熱性

### 省エネルギーに貢献します

夏期の省エネルギーへの貢献、ヒートアイランド現象の効果的な抑止策として期待できる遮熱塗料への対応もしております。従来の遮熱塗料に比べ耐候性・遮熱性に優れたシステムを採用しております。そのため10~20℃(気象条件・塗装色にも因ります)程度、表面温度を抑制し、熱劣化を抑制致します。

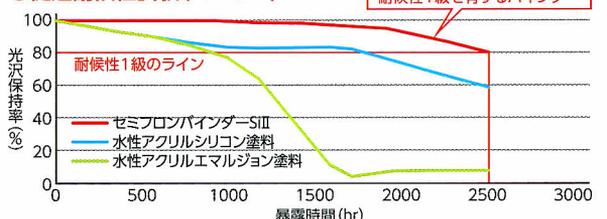


## オールインワンプロセス

### 工期を短縮できます

一般的な塗料が3コートを要するのに対して、耐候性と付着性能を付与した特殊バインダーとの組み合わせにより2コートオールインワンプロセスに対応しております。工期を短くでき柔軟な工程管理に貢献する、コストパフォーマンスに優れた塗料です。

#### ●促進耐候性試験(XWOM)



# セミフロンマイルドII

## 外壁・金属塗装仕様 セミフロンマイルドII・セミフロンマイルドII遮熱

### ■外壁 標準塗装仕様 (新設・築業系・金属系サイディングボードなどの塗替え)

工程	材料名	塗回数	塗布量(kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。(含水率10%以下)					
下塗	KFマイルドシーラーII(透明)	1	0.15~0.15	塗料用シンナーA 0~10%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	セミフロンマイルドII・遮熱	2	0.15~0.18	塗料用シンナーA 0~20%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ築業系サイディングボードは、KFマイルドシーラーIIを増し塗り下地補強を行って下さい。

### ■外壁 2コートオールインワンプロセス (築業系・金属系サイディングボードなどの塗替え)

工程	材料名	塗回数	塗布量(kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	セミフロンバインダーSII(共色)	1	0.15~0.18	塗料用シンナーA 0~10%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	セミフロンマイルドII・遮熱	1	0.15~0.18	塗料用シンナーA 0~20%	最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ築業系サイディングボードは、セミフロンバインダーSIIを増し塗り下地補強を行って下さい。※2コートオールインワン仕様は必ずセミフロンバインダーSIIを使用し、セミフロンマイルドIIは塗り残しなど無いよう慎重に塗付けて下さい。

### ■外壁・金属錆止仕様 (金属系サイディングボード、鉄部などの塗替え)

工程	材料名	塗回数	塗布量(kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	錆や旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗(錆止)	セミフロンエポプライマーII	1	0.12~0.18	塗料用シンナーA 0~5%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	セミフロンマイルドII・遮熱	2	0.12~0.15	塗料用シンナーA 0~20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※著しい発錆部、エッジ部はセミフロンエポプライマーIIを増し塗りしてください。※セミフロンエポプライマーIIはホワイト、グレー、ブラウンから選定下さい。

### ■外壁 微弾性フィラー仕様 (モルタル下地:リジン、吹付けタイルなどの塗替え)

工程	材料名	塗回数	塗布量(kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜の脆弱部はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去、除去した部分は同一模様に合わせて補修する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	セミフロンフィラー・セミフロンフィラーエポ	1	0.2~0.4 0.8~1.2	水道水 2~5% 水道水 0~3%	4時間以上3日以内 16時間以上3日以内	ウルローラー 砂骨ローラー
上塗	セミフロンマイルドII・遮熱	2	0.15~0.18	塗料用シンナーA 0~20%	4時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※旧塗膜が吹付けタイル下地、劣化の程度が少ない場合、2コートオールインワンプロセスでも塗装が可能場合があります。※旧塗膜の劣化、素地劣化が顕著な場合は、KFマイルドクロカチオンシーラー、またはKFマイルドシーラーIIを増し塗り下地補強を行って下さい。

# セミフロンルーフII

## 屋根・金属塗装仕様 セミフロンルーフII・セミフロンルーフII遮熱

### ■屋根 築業系標準仕様1 (新生瓦・スレート屋根・セメント瓦などの塗替え)

工程	材料名	塗回数	塗布量(kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	KFマイルドシーラーII(透明)	1~2	0.18~0.23	塗料用シンナーA 0~10%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	セミフロンルーフII・遮熱	2	0.15~0.18	塗料用シンナーA 0~20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ新生瓦、スレート屋根は、吸込みが止まるまでKFマイルドシーラーIIの塗回数を増やして下さい。セメント瓦はKFマイルドシーラーIIを2回以上塗布して下さい。

### ■屋根 築業系標準仕様2 (新生瓦・スレート屋根・セメント瓦などの塗替え)

工程	材料名	塗回数	塗布量(kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	セミフロンルーフIIインナーSII(白・共色)	1~2	0.18~0.23	無希釈	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	セミフロンルーフII・遮熱	2	0.15~0.18	塗料用シンナーA 0~20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ新生瓦、スレート屋根は、吸込みが止まるまでセミフロンルーフIIインナーSIIの塗回数を増やして下さい。セメント瓦はセミフロンルーフIIインナーSIIを2回以上塗布して下さい。

※セミフロンルーフIIインナーSIIは着色が可能です。遮熱仕様の場合はセミフロンルーフIIインナーSIIは白色として下さい。

### ■屋根 築業系標準仕様3 (新生瓦・スレート屋根などの塗替え)

工程	材料名	塗回数	塗布量(kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗	KFマルチウレタンプライマー	1	0.12~0.15	無希釈	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	セミフロンルーフII・遮熱	2	0.15~0.18	塗料用シンナーA 0~20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※素地劣化が進んだ新生瓦、スレート屋根は、吸込みが止まるまでKFマルチウレタンプライマーの塗回数を増やして下さい。

### ■屋根・金属面標準仕様 (鋼板、トタン、鉄部などの塗替え)

工程	材料名	塗回数	塗布量(kg/m <sup>2</sup> /回)	希釈	塗装間隔(20℃)	塗装用具
下地調整	錆や旧塗膜で剥れ部分、膨れ部分等はワイヤーブラシ、皮スキ等のケレン具を用いて完全に除去する。またチョーキング部分、汚れ等は高圧洗浄等で除去し、乾燥した面とする。					
下塗(錆止)	セミフロンエポプライマーII	1	0.12~0.18	塗料用シンナーA 0~5%	4時間以上7日以内	刷毛、ローラー、スプレー
上塗	セミフロンルーフII・遮熱	2	0.12~0.15	塗料用シンナーA 0~20%	16時間以上7日以内 最終養生24時間以上	刷毛、ローラー、スプレー

※発錆が認められない場合は下地調整後、セミフロンルーフIIを直接塗布することが出来ます。※セミフロンエポプライマーIIはホワイト、グレー、ブラウンから選定下さい。遮熱仕様の場合はセミフロンエポプライマーIIはホワイトを選定下さい。

## 施工上の注意事項・要点

- 塗装場の気温が5℃以下、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は、塗装を避けてください。外部の塗装で降雨の恐れがある場合、および強風時は塗装を避けてください。●飛散防止のため養生を行ってください。色相によっては降雨、結露により濡れ色になる場合があります。乾燥すると元に戻ります。塗膜性能上問題はありません。●塗装後、24時間以内に降雨、結露があると白化やしみが残る場合があります。●低温、高湿度、逆風の無い場合には白化やしみが残る場合があります。乾燥条件によって塗膜に粘着感を感じることがありますが、時間とともに粘着感はなくなくなり、膜性能上問題はありません。●空木、天端など、長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合があります。●たえず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。●濡れ熱ややむ素材(軽量モルタル、ALC、築業サイディングなど)や断熱構造が強い場合で、旧塗膜が弾性リジンや弾性スタック、複層弾性のアクリル樹脂などの弾性塗料の場合、環境条件によって、水や温度の影響で塗膜が膨れることがあります。そのまま塗装すると、更に膨れが拡大することがありますので、ケレンで除去するなどの入念な下地処理を行ってください。●素地の乾燥は十分に行ってください。(含水率10%以下、PH9以下) ●ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面、外部の築業面において巣穴、段差などがある場合、合成樹脂エマルジョン入りセメント系下地調整材などで処理してください。●表面のごみ、ほこりなどは除去し、目ちがい、ジャンク、コールドジョイントなどは合成樹脂エマルジョン入りセメントモルタルで平滑にしてください。●新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材として、浸透性のあるシーラーで処理してください。●新設仕様の場合は、溶剤シーラーを塗装してください。●下地・旧塗膜が弱い弱な場合は、溶剤シーラーをお使いください。●塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりが不良となりますので注意してください。●はけ塗り仕上げローラー仕上げが混在する場合は、塗付量、表面肌質が異なる、色相差が出ますので、はけ塗りの部分は、希釈を少なめに塗装してください。●ローラー塗りの場合、ローラー目は一方向に揃える様に仕上げて下さい。ローラー目により、色相が異なって見えることがあります。●下塗りの微弾性機能は、塗付量によって異なりますので、所定の塗付量を塗装してください。●よごれ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があるので、使用塗料の控えは必ず取っておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。●各工程の塗装間隔は、所定乾燥時間を厳守してください。●シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、取割れなどの不具合を起すことがありますので、行わないでください。やむを得ず行う場合は、適切な下塗り材処理を行ってから塗装してください。●被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発揮されない場合があります。●旧塗膜に発生した藻・かびは洗浄などで必ず除去し、洗浄後必ず乾燥させてください。付着阻害を起すおそれがあります。●既存塗膜のはく離箇所は、既存のバターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でバターン合わせを行ってください。●劣化した塩ビ鋼板の上の塗装は避けてください。●乾燥した塗膜に付いた汚れは、シンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。●つや調整品は、被塗物の形状や素地の状態、膜厚や色相などにより、実際のつやと若干違って見える場合があります。見本版、またはあらかじめ試し塗りをして確認してください。☆つや調整タイプは硬くなるため、シーリング目地の上で割れる恐れがありますので、塗装しないで下さい。

## 安全衛生上の注意事項

- 本来の用途以外に使用しないでください。●使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。●粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください。●取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。●必要に応じて個人用保護器具を使用してください。●飲み込んだ場合は、医師に連絡してください。口をすすいでください。●粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときは、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。●暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。●緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。●容器からこぼれた時は、砂などを散布した後処理してください。●施設で子供の手の届かないところに保管してください。●直射日光や水濡れは厳禁です。●塗料など缶の積み重ねは3段までとして下さい。●日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。●内容物・容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。●上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。□詳細な内容、表示例以外の事項については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

# KF KFケミカル株式会社

〒105-0004

東京都港区新橋1丁目1番1号

日比谷ビルディング9F

TEL:03-6629-9033 FAX:03-6629-9023

HP: <http://www.k-fine.co.jp>



※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。003-15800-004 2018.04